



2021年度

# 経営情報説明資料

2021年7月1日

SHIMANE

島根銀行

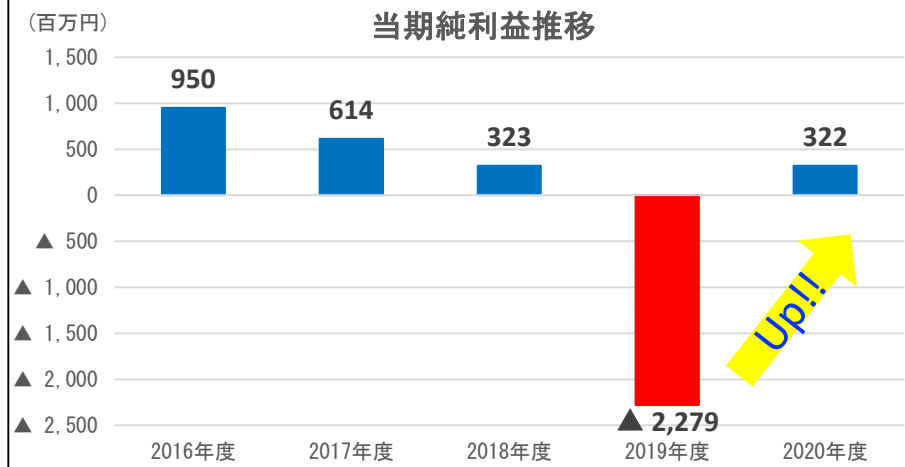
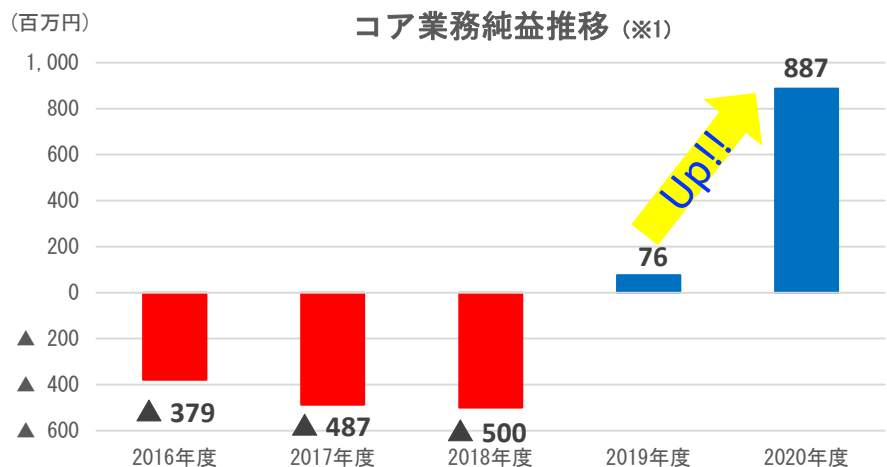
# 1. 2020年度 単体決算の総括

コア業務純益 (※1)・当期純利益の黒字確保

## V字回復 達成!!

### ポイント

- 有価証券運用のSBIグループへの全面的委託や、SBIマネープラザとの共同店舗運営など、SBIとの提携分野中心に収益力が大幅に改善
- 店舗再編や事業の選択と集中を推進し、各種コストの削減に成功
- コロナ禍、予防的に信用コストの積み増しを行うとともに、遊休資産についても処理を進めたうえで、単体の業績予想額280百万円を上回る当期純利益を確保



※1) ■ 当行は、当事業年度より、会計方針の変更（受益証券に係る収益、費用の計上区分の変更）を行っております。この変更は、2019年9月6日に締結したSBIグループとの資本業務提携により、有価証券等の運用をインカムゲイン重視の方針に見直したため、当該状況をより適切に反映できると判断したことによるものです。

■ 当該会計方針の変更は遡及適用され、遡及適用後の財務諸表から算出されるコア業務純益も修正されます。

- ・2016年度 コア業務純益（修正前）▲103百万円 →（修正後）▲379百万円
- ・2017年度 コア業務純益（修正前）▲281百万円 →（修正後）▲487百万円
- ・2018年度 コア業務純益（修正前）▲390百万円 →（修正後）▲500百万円
- ・2019年度 コア業務純益（修正前）▲447百万円 →（修正後）+76百万円

## 2. 2021年度 事業展望

- 中期経営計画「お客さまのために考動するしまぎん」の数値目標（最終年度2021年度）である**コア業務純益300百万円**を確実に達成するとともに、継続的且つ安定的な収益体質に転換する。
- 上記目標を確実に達成するため、「Ⅰ.安定的な収益の確保」、「Ⅱ.デジタルシフト」、「Ⅲ.主体的な取組み」を2021年度のメインテーマとして積極果敢に取組み、持続的な質的改善を実現していく。

### -中期経営計画 数値目標 「コア業務純益300百万円」-

2020年度  
コア業務純益（実績）

**887百万円**

うち定常ベース 437百万円

うち一過性要因450百万円

- 有価証券利息配当金1,390百万円のうち、450百万円程度は当行保有ファンド入替に伴う一過性での収益計上との認識（保有ファンド入替の為、一方で、410百万円程度の債券損失も計上）
- その一過性要因を除いた定常ベース部分（サステナブルな収益基盤）としてのコア業務純益は437百万円程度
- これらを考慮しても、中期経営計画の数値目標「コア業務純益300百万円」を上回る水準にあり

2021年度  
コア業務純益  
（定常ベース）

目指す水準  
**400百万円**

～  
**500百万円**

#### ◆2021年度は以下の取組により、よりサステナブルな収益基盤を構築◆

- コロナ禍、お客さまに寄り添う「フェイス・トゥ・フェイス」を主軸に、地域密着型金融を更に強化
- 主要顧客基盤である地元事業者への金融支援・本業支援に最大限注力

×

#### Ⅰ.安定的な収益の確保

- ・法人営業（本業支援の定着）
- ・リテール営業（ターゲットの明確化）
- ・有価証券運用（安定リターンの確保）
- ・収益補完（域外融資等）

#### Ⅱ.デジタルシフト

- ・次世代店舗の実現
- ・AI / ビッグデータの活用
- ・次世代システム（勘定系、業務系、IB、ATM）構想の実現

#### Ⅲ.主体的な取組

- ・心理的安全性の確保（対話と共感）

### 3. 金融支援・本業支援への注力

#### ■ 企業支援室の新設

#### ■ 全営業店における企業支援の定着化

様々な経営課題解決に向けた、行内外の機能・ネットワークをフル活用した総合的な支援

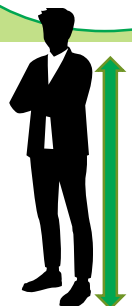
経営改善支援  
再生支援



ウィズコロナ  
アフターコロナ  
事業承継



本業支援



#### 外部アドバイザーとの連携

氏名：伊藤 貢作

現職：北門信用金庫 営業第二本部 企業支援室 室長

略歴：1995年 北海道滝川市の建設会社に就職。

以降、運送業、卸売業、小売業を中心に企業の再生に従事。

2009年 北門信用金庫に入庫。

2018年 北門信用金庫企業支援室 室長就任。

#### 外部機関や外部専門家との連携

- ・信用保証協会
- ・地場弁護士、税理士、司法書士

#### 首都圏との連携

- ・SBIグループ
- ・当行 東京事務所



# 4-1. しまぎん地域応援プロジェクトの取組

## ■ 地元企業の皆さまへのご支援

販売場所の無償提供!!

SHIMANE 島根銀行  
×  
地元企業の皆さま

# しまぎん地域応援プロジェクト

コロナに  
負けない!!

お取引先さまがご自慢の商品を島根銀行本店1階ロビーで出張販売されます!!



すでに実績のある  
お取引先さまのご紹介  
ご好評のうち、すべて完売致しました!!

いわみ福祉会 さま  
2020年10月16日(金)

なかうみの郷 さま  
2021年1月22日(金)

沖縄酒家 島球 さま  
2021年3月11日(木)

大衆しゃぶしゃぶ酒場 シンカ さま  
2021年3月18日(木)



詳細はしまぎんFacebookへGO!!



随時  
追加受付中!

## <その他の取組>

- ・当行ホームページ上での  
顧客紹介ページの掲載



- ・当行各店舗に設置しているデジタル  
サイネージでの取引先PR動画の放映



## 4-2. しまぎん地域応援プロジェクトの取組

### ■ 将来を担う子供たちへの支援

学習環境の無償提供!!

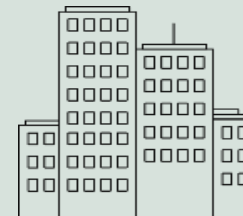
#### ■ 本店大会議室の学生向け貸出

- ・3密防止の観点から、図書館等の使用制限が設けられるなど、自習環境確保が一層困難となっている状況
- ・当地の将来を担う子供たちである中高生を対象として、休日に、学習環境（3階 大会議室）を無償提供



#### ■ 大学への寄付金の進呈

- ・学生支援に役立てていただくよう、島根大学および島根県立大学へ寄付金を進呈





# 5 - 1. 顧客利便性向上への取組

## ■ 支店の移転

### 【新平田支店】

2021年4月26日（月）移転オープン

<特色> ・リモート商談ブースの積極活用

- ・広い駐車場を活かした地域貢献活動の推進
- ・コンビニエンスストア跡を活用した軽量型店舗



### 【新大田支店】

2021年7月12日（月）

**「イオン大田店」内へ移転オープン予定**

<特色> ・オートメーション化の推進

- ・インストアブランチを活かした柔軟な営業時間設定



## 5-2. 顧客利便性向上への取組

### ■ しまぎんアプリの機能拡充

# しまぎんアプリ リニューアルしました

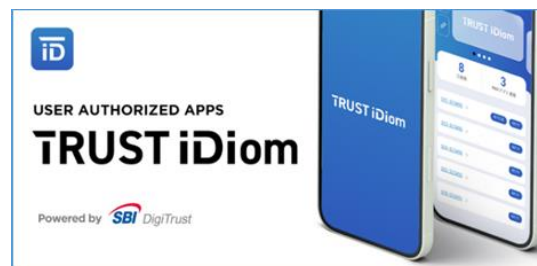
生体認証でかんたんログイン  
いつでも残高照会可能

詳しく見る



**高度なセキュリティ水準を実現！**

金融機関向け認証認可基盤サービス  
「Trust Idiom® (トラストイディオム)」を採用





## 6. SBIホールディングスからの紹介で実現したビジネスマッチング提携先

### 01. トップライン支援



複合型広域ビジネスシステム  
「セーラス(SELAS)」

Inagora

### 02. デジタルマーケティング支援



### 03. コスト削減支援



### 04. 人材確保支援



### 06. DX化支援



### 08. 節税・資産運用支援



### 09. 補助金等取得・資金調達手法拡充支援



### 10. 事業承継・M&A支援



### 05. 福利厚生支援



### 11. 地方創生支援



## 7-1. 地方創生に向けた取組

### ■ 地域創生プラン「島根でんき」への出資



#### ■ 地産地消モデルを目指した電力地域販社の取組

- ・日本のあちこちでお得な電気代を実現している株式会社おトクでんきと島根エナジー株式会社が協力して、地域創生プラン「島根でんき」が誕生
- ・地域を元気にするために、島根エナジー株式会社が、地元のさまざまな団体に収益の一部を寄付して、地域を応援

#### ■ 山陰両県の事業者様、個人のお客様の電気代を安くし、収益の一部を地元に戻元していきます！



#### ■ 島根でんきを選ぶ4つの理由！



**Point 1** お得なプランをご用意

**Point 2** 電気の品質はそのまま

**Point 3** お申し込みだけで利用可能

**Point 4** 収益の一部を地域に貢献

## 7-2. 地方創生に向けた取組

### ■ 地域内消費・デジタル化の促進【地域通貨関連事業展開への支援】

#### ■ オープンな地域通貨アプリ「さんいんオープンマネー（仮称）」の展開

- ・地域通貨事業、プレミアム付電子商品券、地方創生および地域経済の活性化に関連する支援
- ・地域内消費の促進、地域の魅力度アップによる域外消費者（観光客等）の取り込み推進

#### ■ 電子化のメリット

- ①事務負担の軽減    ②データ利活用    ③1円単位の決済    ④利用者拡大（若年層・働き世代）
- ⑤三密対策    ⑥転売抑止

- 複数種類の商品券やポイントを発行・管理することができるプラットフォームの強みを活かし、1つのアプリの中で複数の地域の電子商品券やポイントを運営。
- プレミアム商品券事業等の事業予算が小さな商店街等であっても、比較的安価にデジタル化の取組を開始できる。



#### 【事務負担の比較】

	紙	電子化
周知	プレミアム付地域商品券発行のチラシ WEBサイト作成	プレミアム付地域商品券発行のチラシ WEBサイト作成
準備	商品券印刷代	不要
申込受付	申込ハガキの入力・集計事務	不要
抽せん	抽選ソフトを使用	管理画面にて実行
結果	ハガキ代	不要
	ハガキ宛名作成、送付手続き	
販売	販売スタッフ、会場準備	不要
換金	換金事務	不要
管理	プレミアム付地域商品券・現金の残高確認	不要
サポート	商工会議所・商工会でサポート	コールセンター

## 8. 株主還元の方針

### ■ 安定した収益体質・盤石な経営基盤の構築

#### ■ 2020年度 復配の実現へ

- ・これまで当行を支えて頂いたステークホルダーの皆さまへ、感謝の意をお伝えするため、復配を実現
- ・今後は、更なる財務体質の強化、健全性の維持向上を図るとともに、お客さまの利便性・サービス向上に資するシステム投資等のための内部留保の充実に努める方針

	2016年度 (2017年3月末)	2017年度 (2018年3月末)	2018年度 (2019年3月末)	2019年度 (2020年3月末)	2020年度 (2021年3月末)
年間配当額	50円	50円	20円	0円	5円
(中間配当額)	(25円)	(25円)	(10円)	(0円)	(0円)
配当総額	277百万円	277百万円	111百万円	0百万円	42百万円

※上記配当総額は普通株式に係る配当の状況です。

当行が発行する普通株式と権利関係が異なる種類株式（非上場）の配当は含んでおりません。



事前に株式会社島根銀行の許可を得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配付することを禁止いたします。

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。

